学校番号	４１３

平成 31 年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ｂ　Advanced　（東京書籍）						
副教材等	PRIME　数学Ⅱ＋B　（東京書籍）、LEGEND　数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題に対して、まず自分で考えることが大切ですが、周囲の人と意見交換してともに考え、人に説明をしたりすることも大切です。
・ノートは、授業用／問題集用／参考書用の 3 冊を用意してください。テストごとに提出してもらいますが、その日の授業で進んだところまで、その日のうちに解いて答え合わせをし、理解しておくのが基本です。解答はすぐに見ず、じっくりと考えることが大切です。また、答えに至るまでの経過が大切なので途中式は必ず書くようにして下さい。その後、自分で解答を見ても理解できない問題は、必ず友人や先生に聞き解決することが大切です。

2　学習の到達目標

ベクトル、数列についての基礎的な知識や技能を習得します。
また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ベクトル、数列の考え方に**関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察**に活用しようとする。	**事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して**、ベクトル、数列における**数学的な見方や考え方を身に付けている。**	ベクトル、数列において、**事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている**	ベクトル、数列における**基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。**
評価方法	確認テスト プリント課題 ノート提出 観察等	定期テスト プリント課題 ノート提出 観察等	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期中間</td><td rowspan="3">平面上のベクトル</td><td>ベクトルの意味
ベクトルの加法・減法・実数倍</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a:ベクトルの考え方を事象の考察に活用しようとしている
b:ベクトルを用いて平面図形の性質について考察することができる。
c:基本的な演算及び内積を用いて辺の長さや角を求めることができる。
d:ベクトルの意味、成分や内積の基本的な性質や活用方法を理解している。</td><td rowspan="3">確認テスト
プリント課題
ノート提出
定期テスト
観察等</td></tr>
<tr><td>ベクトルの成分</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ベクトルの内積</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期末</td><td rowspan="2">平面のベクトル</td><td>位置ベクトル</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td rowspan="2">a: 位置ベクトルの考え方を事象の考察に活用しようとしている。
b: 位置ベクトルを用いて平面図形の性質について考察することができる。
c:ベクトルによる分点表示を活用し比や長さを求めることができる。
d:分点表示の活用の方法について理解している。</td><td rowspan="2">確認テスト
プリント課題
ノート提出
定期テスト
観察等</td></tr>
<tr><td>ベクトル方程式</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期中間</td><td rowspan="3">数列</td><td>数列</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="5">a:数列の一般項や和、階差数列、漸化式、数学的帰納法を事象の考察に活用しようとしている。
b: 数列の一般項や和、階差数列、漸化式、数学的帰納法を用いて数の規則性や自然数の性質について考察することができる。
c:一般項や和を求めることができる。
d: 数列の一般項や和、階差数列、漸化式、数学的帰納法の考え方を理解している。</td><td rowspan="3">確認テスト
プリント課題
ノート提出
定期テスト
観察等</td></tr>
<tr><td>等差数列と和</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>等比数列と和</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2学期期末</td><td rowspan="2">数列</td><td>Σ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">確認テスト
プリント課題
ノート提出
定期テスト
観察等</td></tr>
<tr><td>階差数列</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

		漸化式と数学的帰納法	○	○	○	○		
3学期	空間のベクトル	空間における座標 空間におけるベクトル	○	○	○	○	a: 空間ベクトルの考え方を事象の考察に活用しようとしている。 b:空間ベクトルを用いて平面図形の性質について考察することができる。 c:空間図形においてベクトルの内積や分点表示を活用し様々な量を求めることができる。 d:座標やベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等
		位置ベクトルと空間の図形	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。